

# 水辺の生きものの部会

(水辺の生きものの部会 部会長・環境科学調査センター) 榊原 靖 / (なごや生物多様性センター) 寺本 匡寛

## はじめに

水辺のいきもの部会では、名古屋市内および近隣にある水域（周辺域を含む）に生息・生育する生きものについて、なごや生物多様性保全活動協議会会員、なごや市民生きもの調査員、学生、専門家、保全団体などと協働で、分布調査、生息・生育環境調査などを行います。さらに、これらの調査活動から得られた知見を基に在来種の保全対策や外来種の防除対策を計画し、実施することで在来の生物多様性の保全を図ります。

## 平成27年度の活動

今年度は以下に掲げる9項目の活動を行いました。

- ・茶屋ヶ坂池モニタリング調査
- ・水田・水路及びその周辺の生物調査
- ・ヒキガエルアンケート調査
- ・名古屋城外来種対策

- ・呼続公園曾池の池干し
- ・東ノ池の池干し
- ・カワバタモロコの保護
- ・猫ヶ洞池におけるヌマガイの保護
- ・スキルアップ講座

## 平成27年度の活動記録

### ● 各調査地ごとの在来種と外来種の割合

調査方法や調査回数に違いがありますが、平成27年度に生きもの調査を行った調査地（茶屋ヶ坂池、中川区の水田・水路、名古屋城水堀、呼続公園曾池、東ノ池）において確認した種を在来種（レッド掲載種）、在来種（レッド以外）、外来種に3区分し、それぞれの割合を算出しました（図1）。レッドとは、環境省<sup>2)</sup>、愛知県<sup>1)</sup>、名古屋市<sup>4)</sup>のレッドリスト・レッドデータブックのことです。

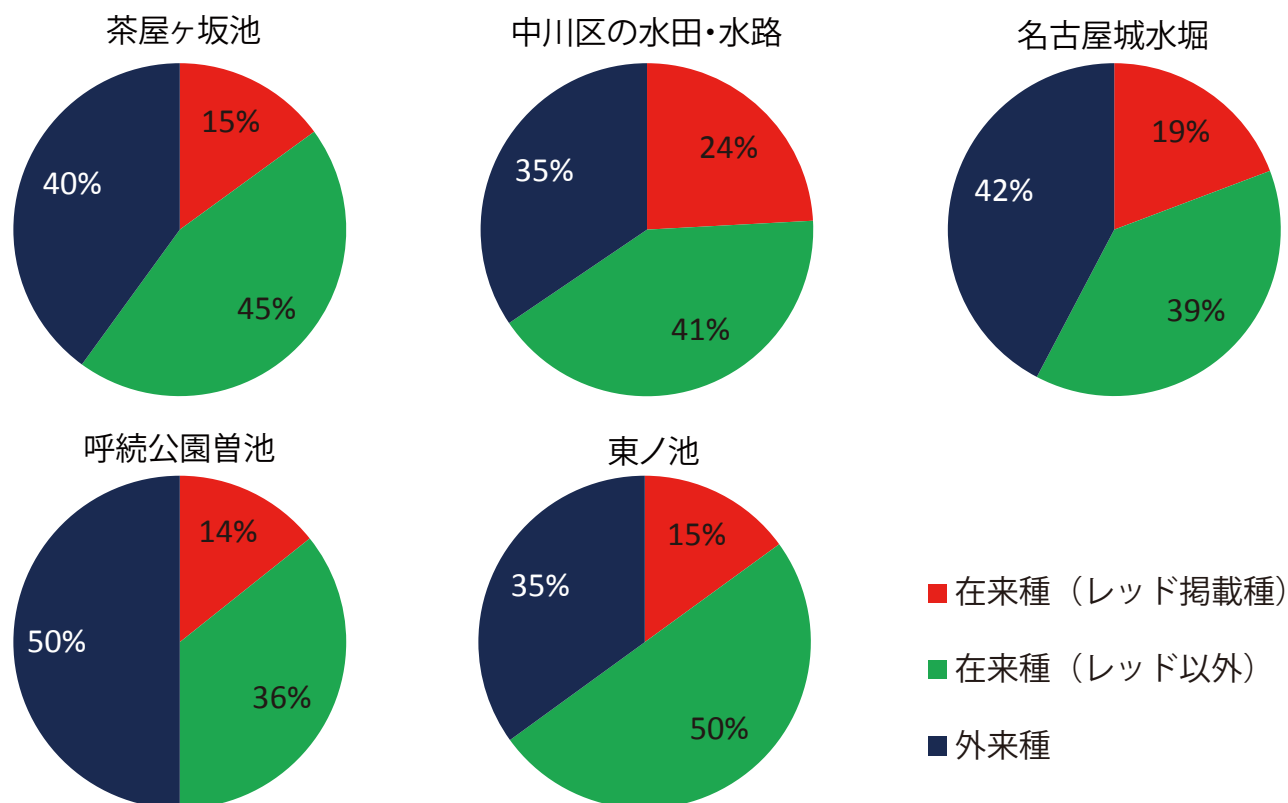


図1. 各調査地ごとの在来種・外来種の内訳

調査地全体で、在来種（レッド掲載種・レッド以外）の割合は、50～65%で、そのうち、在来種（レッド掲載種）の割合は15～24%でした。外来種の割合は35～50%を占めていました。

環境省のレッドリスト・レッドデータブックで評価されている動物の分類群（哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、その他の無脊椎動物）のうち、絶滅のおそれのある種の割合が高いのは、汽水・淡水魚類の42%、次いで爬虫類の37%、両生類の33%の順になって<sup>3)</sup>、水域やその周辺に生息している生きものに絶滅の危機に瀕している種が多いと考えられます。

写真は、ため息の改修や埋め立て、水質悪化などによる生息環境の悪化で減少し、市内における正式な記録も非常に少ないタイコウチです。



写真1. タイコウチ（名古屋市NT）

### ● ヒキガエルアンケート調査

アズマヒキガエルは近年市内で激減しているとしてレッドデータブックなごや2015で絶滅危惧Ⅱ類に選定されました。そんな背景のもと、本種の過去・現在における分布状況を把握する必要があると考えてアンケート調査を行いました（図2）。

ウェブサイトでの呼びかけ、メールでの案内、アンケート用紙の配布、郵送といった方法でアンケート調査を行った結果、181件の回答を頂き、そのうち151件がヒキガエルの情報でした。寄せられた情報を区ごとの確認年代別に集計しました（図3）。これによる

と近年（平成23年以降）は西部（沖積平野）における目撃情報が得られませんでした。それ以前には市内全域で生息していたらしいことがわかりました。

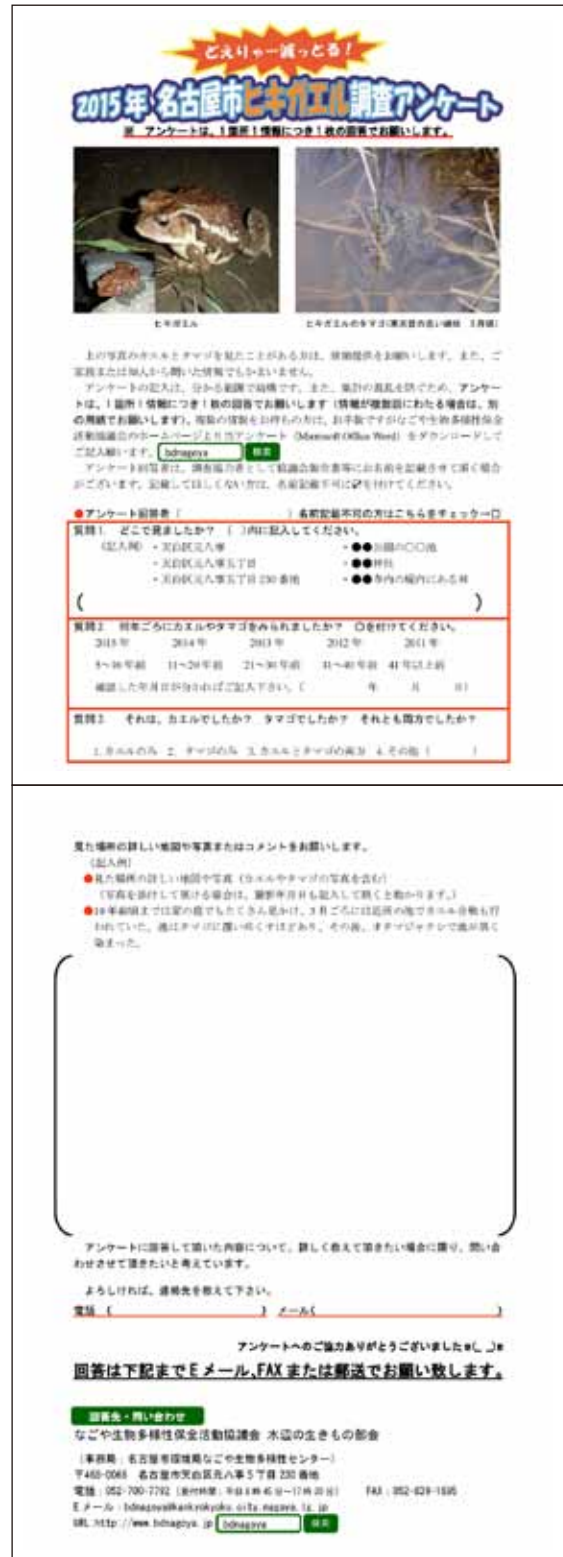


図2. ヒキガエルアンケート調査用紙

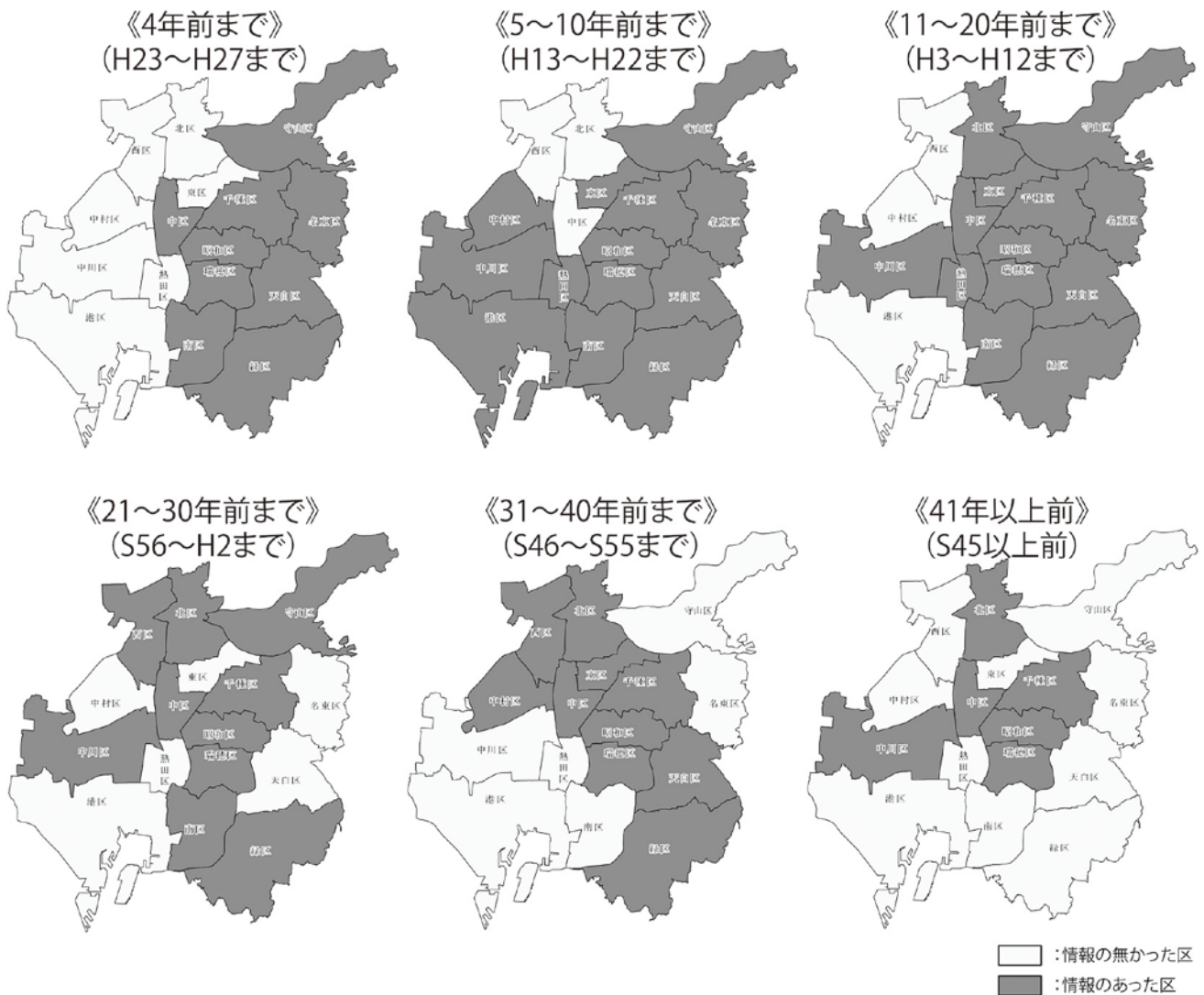


図 3. アンケート調査結果

## ● カワバタモロコの保護

中川区の用水路において「レッドデータブックなごや 2015」で絶滅危惧IA 類に選定されているカワバタモロコの生息が確認されました(写真 2)。この生息域が土地区画整理事業に伴って埋め立てられ消滅します(写真 3)。そのため、緊急避難措置として捕獲、飼育を行っています。



写真 2. カワバタモロコ



写真 3. カワバタモロコが生息する水路 (工事前)



### ● 猫ヶ洞池におけるヌマガイの保護

平成 24 年 12 月に行われた千種区猫ヶ洞池の池干し調査の際にヌマガイ（「レッドデータブックなごや 2015」で絶滅危惧IB 類に選定）の生息が確認されています（写真 4）。平成 28 年 1 月に猫ヶ洞池から山崎川に放水する暗渠の点検作業のため池の水位を下げるようになったので、一時的に保護する目的で、干出した部分に生息するヌマガイを水深の深い場所に移動しました。今後は水位の回復を待つ元場所に戻す予定です。



写真 4. ヌマガイ（愛知県 NT, 名古屋市 EN）

### ● スキルアップ講座

なごや生物多様性保全活動協議会会員およびなごや市民生きもの調査員のスキルアップを図る目的でスキルアップ講座を2回開催しました。

一回目は 6 月 4 日に愛知教育大学の島田知彦氏を講師に「もっと知ろう水辺の隣人ーカエル」と題してカエルについて学びました（写真 5）。

二回目は 9 月 6 日に漁師経験者の寺本昌司氏を講師に「漁網体験講座」として漁網の種類や投網の投げ方などを学びました（写真 6）。



写真 5. もっと知ろう水辺の隣人ーカエル



写真 6. 漁網体験講座

### 今後について

部会員は 16 名（平成 28 年 3 月末時点）ですが平成 28 年度から水生植物部会と合併して規模、活動内容が拡大する予定です。活動の内容や趣旨に賛同していただけて一緒に活動しようという意欲のある方の参加を随時求めていますので気軽にお問い合わせください。

#### 参考文献

- 1) 愛知県（2015）：第三次レッドリスト「レッドリストあいち 2015」
- 2) 環境省（2014）：第 4 次レッドリスト
- 3) 環境省（2015）：環境白書 循環型社会白書 / 生物多様性白書
- 4) 名古屋市（2015）：名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物「レッドデータブックなごや 2015ー動物編ー」